

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

第1節 生涯にわたって学び続ける社会をつくる

目標1 市民の主体的な学習の推進

家庭や学校、地域社会、行政機関、民間団体などの連携・融合を図るほか、市民の自主的・主体的な生涯学習活動を促進します。

生涯学習推進経費 13万1千円

市民が生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を図るため、生涯学習情報の提供等を行います。

○生涯学習情報の提供

- ・生涯学習ニュース（明日をひらく窓）・生涯学習情報
- ・生涯学習ガイド ・生涯学習人材バンク

○生涯学習連絡会の開催 市内小中学校と教育委員会・市長部局との意見交換

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

教育施設運営管理委託料（市民会館・鷺別公民館・総合体育館・陸上競技場）

7,104万1千円

市民が活発に文化・スポーツ活動を行える環境を整えるため、指定管理者に委託し、社会教育施設の運営管理を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民会館改修事業費 570万円

老朽化した市民会館設備の改修を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民生涯学習推進講座経費 242万5千円

市民が生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を図るため、ときめき大学・婦人短期大学などの事業を実施します。

○ときめき大学（4年制）・婦人短期大学（2年制）

- ・教養コース（共通） ・専修課程（グループ学習）
- ・選択コース（婦人短期大学は1コース以上必修）

【平成21年度受講者数】

- ・ときめき大学 250人（聴講生含む） ・婦人短期大学 124人（聴講生含む）

○家庭教育学級

- ・12学級（市内私立幼稚園、小学校）

○市民マイプラン講座

市民が自主的に行う学習等への支援事業

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

婦人研修の家維持管理経費 300 万円

婦人の生活文化や教養の向上を図るとともに、地域における婦人間の連携を図るため、市内 8 箇所に設置した婦人研修の家の維持管理を行います。なお、運営管理については、指定管理者への委託により行っています。

婦人研修の家名	住 所	電話番号
カルルス婦人研修の家	カルルス町 27-1	84-2172
常盤婦人研修の家	常盤町 2 丁目 34-1	85-8039
柏木婦人研修の家	柏木町 4 丁目 24-8	85-1079
桜木婦人研修の家	桜木町 2 丁目 15-17	
新川婦人研修の家	新川町 4 丁目 15-11	
栄婦人研修の家	栄町 2 丁目 7-5	86-9918
美園婦人研修の家	美園町 4 丁目 8-9	86-6975
若草婦人研修の家	若草町 2 丁目 2-7	86-9919

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

公民館運営管理経費 192 万 4 千円

地域住民に身近な交流・研修の場を提供するため、公民館（登別、登別温泉、鷺別の一部）の運営管理を行います。なお、鷺別公民館については、指定管理者への委託により運営管理を行っています。

公民館名	住 所	電話番号
登別温泉公民館	登別温泉町 17	84-3365
登別公民館	登別東町 2 丁目 21-1	83-3265
鷺別公民館	鷺別町 3 丁目 3-4	86-8823

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

図書館運営管理経費 1,570 万円

市民の教育文化の向上に寄与するため、図書資料等の整備を行い、市民の利用に供するとともに、『小中学生の読書感想文・読書感想画コンクール』や『文化講演会』などの読書推進事業を行います。

- ・ 図書購入予定冊数 6,300 冊
- ・ 蔵書数（平成 20 年度） 147,269 冊
- ・ 年間貸出数（平成 20 年度） 219,662 冊
- ・ 主な主催事業 小・中学生の読書感想文、読書感想画コンクール、文化講演会、年長児の読書感想画募集、読み聞かせの研修会、新刊図書案内及び児童室だよりの発行、図書館まつり

▶ 問い合わせ 市立図書館

移動図書館車運行業務委託料 296 万 6 千円

移動図書館車の効率的な運行と巡回サービスの向上を図るため、運行業務を委託します。

- ・ 年間運行予定日数 224 日
- ・ 年間貸出数（平成 20 年度） 28,864 冊

▶ 問い合わせ 市立図書館

「ほん」との出会い、ふれ愛、語り合い（明日のまちづくり事業） 70万円

図書館に対する関心を高め、市民の感性を豊かにすることを目的に、本と出会い、ふれあうことができる場として、赤ちゃんからお年寄りまですべての市民を対象に、絵本の読み聞かせ広場や各種講演会などを実施します。

（実施事業）

- ・絵本の展示、原画展、読み聞かせ広場、講演会
- ・ライブラリーツアー
- ・乳幼児等の保護者を対象とした講演会
- ・ふくろう文庫特別展及び講演会
- ・音読教室講演会

▶ 問い合わせ 市立図書館

第2節 学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む

目標1 子どもたちの生きる力を育む

自ら学び、自ら考えるなど『生きる力』の育成を図るため、基礎・基本の確実な定着を図り、豊かな人間性の育成、健康や体力づくりなど『知・徳・体』の調和のとれた教育を推進します。

不登校・いじめ等対策経費 21万7千円

不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対処するため、教育指導専門員による相談や研修会の開催、広報紙による啓発などを行います。

○主な事業内容

- ・教育相談、いじめ相談電話 随時 ・教育指導専門員2名 月～金9:00～17:00
 - ・不登校・いじめ等対策会議 年2回 ・教職員を対象とした研修会 年2回
 - ・父母懇談会の開催 月の第2火曜日 ・ふれあいサポート懇談会 年2回
 - ・「いじめ学習資料」の配布 年1回 ・広報紙「手をつなぐ親と子」年3回
- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

スクールカウンセラー活用事業費 28万8千円

不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対処するため、臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図ります。

○配置校（拠点校方式） 西陵中学校、緑陽中学校

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

心の教室相談員活動経費 178万9千円

不登校やいじめ等を未然に防止するため、生徒の悩み相談等に応じる心の教室相談員を中学校に配置し、生徒が心のゆとりを持ち、ストレスをためることがない環境を整備します。

○配置校 幌別中学校、西陵中学校、鷲別中学校、登別中学校、緑陽中学校

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

児童生徒健康診断等経費 1,868万7千円

児童・生徒の健康保持及び増進を図るため、市内小中学校の児童・生徒並びに新入学児童の健康診断を実施します。

結核検診（全員）、心臓検診（小1・中1）、ぎょう虫卵検査（小1～小3）

尿検査（全員）、内科検診（全員）、歯科検診（全員）、眼科検診（小1・中1）

耳鼻科検診（小1・中1）

○新入学対象予定者 488名

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

中学校体育連盟助成金 146 万円

スポーツを通して生徒の心身の健康を増進するとともに、学校間の親睦と交流を深めることを目的に、市内中学校の体育活動振興のために活動する中学校体育連盟に対し、その活動に必要な費用の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

目標 2 地域に根ざした魅力ある学校づくり

各学校において創意あふれる教育活動が展開できるよう、地域に根ざした特色ある教育活動を進め、開かれた学校づくりを推進するほか、教育環境の充実に努めます。

特色ある学校づくり推進経費 472 万 1 千円

豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てるため、総合的な学習の時間や生活科等を通して、各学校の特色ある学校づくりを推進します。

○登別温泉入浴体験事業 参加対象児童：436 名（各小学校 3 年生）

○総合的な学習活動研究推進事業（全小中学校）

・対象学校数 13 校（全小中学校）

・事業内容 自由な学習環境の中で学ぶ総合学習の推進を図る。

○生活科実施等経費

・対象学校数 8 校（各小学校 1・2 年生）

・事業内容 動物の飼育・学校菜園

○スキー体験学習モデル事業（新規）

・対象学校数 2 校（幌小及び東小 5・6 年生）

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

自然体験学習推進経費 61 万 8 千円

児童・生徒の社会性・自主性を育てるため、ネイチャーセンターを活用し、宿泊研修や炊事遠足などの自然体験学習を行います。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

小中学校情報教育推進事業費 3,734 万 1 千円

情報化社会に対応することができる能力を育てるため、パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、情報教育の推進を図ります。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

言語障害通級指導教室運営経費 21 万 5 千円

言語障がい児教育の充実・伸展を図るため、言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室を開設します。

・実施内容 幼児部・小学部の入級判定、保護者との教育相談、言語指導

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別支援教育振興費 36 万 3 千円

心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を促すため、特別支援教育の指導内容の研究と実践を図ります。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

教育研究会運営事業補助金 65万円

教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るため、各部会活動や研修会を行っている登別市教育研究会に対して補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

教育実践研究奨励経費 61万5千円

市内小・中学校の教育レベルを高めるため、実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、研究紀要を作成します。

- ・事業内容 研究主題に基づく研究、成果の公開研究会、研究紀要作成
- ・実施校 新規6校 継続4校

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

外国青年招致経費 961万6千円

国際化社会で活躍することができる人材を育てるため、生きた英語を指導する外国語指導助手（ALT）を配置し、英語を使ったコミュニケーション能力の育成などを図ります。

- ・事業内容 中学校での英語指導、市民対象の英会話教室
小学校での外国語活動や地域住民等との交流

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

私立高等学校教育振興補助金 156万6千円

私立高等学校の安定した学校経営を図り、多様な教育機会を確保するため、私立登別大谷高等学校に対して、入学金減免額の3分の2を上限とした額並びに備品購入に係る費用の一部を補助します。

補助対象 入学者80名及び備品購入費

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

児童生徒遠距離通学費補助金 356万円

バスで通学する小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図るため、バス通学児童・生徒に対して、通学に要する費用の一部を補助します。

- ・補助対象人員 小学校2校 23名 中学校3校 97名

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

スクールバス運行経費 1,330万9千円

遠隔地から通学する児童・生徒の負担を軽減するため、札内町・来馬町に居住する児童・生徒を幌別小学校・幌別中学校へ、カルルス地区・上登別地区・登別温泉地区・中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎するスクールバスを運行します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別活動推進経費 24万円

児童の自主性や社会性等を育てるため、各学校の特色や児童の発達段階などを踏まえ、児童による自主的・実践的な活動（児童会活動等）を助長します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別支援教育推進経費 139万5千円

心身に障がいのある児童一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うため、特別支援学級を設置します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

小学校耐震診断等事業費 1,490万円

耐震化優先度調査の結果を踏まえて、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物について、耐震診断（2次診断）を行います。

なお、昨年度は、優先度調査でランク1及びランク2と判定された校舎及び屋体を対象に2次診断を行いましたので、今後は、ランク3～ランク5の校舎及び屋体について順次2次診断を行う予定です。

今年度については、次の学校について2次診断を行います。

・平成22年度耐震診断実施校 鷲別小学校（校舎）・青葉小学校（校舎）

▶ 問い合わせ 教育委員会総務グループ

特別支援教育就学奨励費 125万7千円（うち国 62万8千円）

特別支援学級に就学している児童の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援学級への就学に必要な費用の一部を援助します。

・対象人員 小学校 30名

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別活動推進経費 255万円

生徒の自主性や社会性等を育てるため、各学校の特色や生徒の発達段階などを踏まえ、生徒による自主的・実践的な活動（生徒会活動・部活動等）を助長します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別支援教育推進経費 81万円

心身に障がいのある生徒一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うため、特別支援学級を設置します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別支援教育就学奨励費 91万9千円（うち国 45万9千円）

特別支援学級に就学している生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援学級への就学に必要な費用の一部を援助します。

・対象人員 中学校 18名

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

要保護・準要保護就学援助費 3,364万6千円（うち国 11万円）

経済的な理由により就学が困難と認められる児童の保護者に、就学に必要な援助を行います。

・小学校 444名

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

要保護・準要保護就学援助費 3,352万1千円（うち国 43万6千円）

経済的な理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に、就学に必要な援助を行います。

- ・中学校 285名

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

P T A 連合会助成金 30万円

市内各学校 P T A の緊密な連絡調整により教育の充実を図ることで、子どもたちの豊かな人間性を育むため、市内の小中学校及び高校の P T A で構成される登別市 P T A 連合会の活動を支援します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

目標3 青少年が健やかに地域で育つ環境づくり

家庭や学校、地域社会、関係機関、民間団体などと連携し、青少年の非行の未然防止に努めます。

学校支援地域本部事業費 72万円

地域で学校をサポートするシステムを構築し、地域教育力の向上を図ることを目的に、各中学校区に学校支援地域本部を設置し、地域の特色を生かした学校支援事業を実施します。

- ・実施方法 事業実施は各校区に組織する実行委員会に委託
- ・事業内容 各学校支援地域本部において、事業内容や学校及び地域住民への普及啓発方法を検討し、その検討結果に基づき、地域の特色を生かした学校支援事業を実施

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

子ども地域交流プラザ事業補助金 100万円

人とのふれあいを大切にする心や地域への愛着を育むことを目的に、ふれあい・自然体験などの事業を行っている登別市子ども地域交流プラザ運営委員会に補助金を交付します。

- ・事業内容 ふれあい農園、巡視船体験乗船、自然体験学習等

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

少年の主張大会経費 2万8千円

子供たちが、論理的に考える力や自分の考えを正しく理解してもらう力、広い視野と柔軟な発想、創造性を身につけるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を得ることを目的に、中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていることなどについて発表を行う、少年の主張大会を開催します。

- ・期日 平成22年6月
- ・場所 幌別中学校
- ・発表者数 10名

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

青少年育成指導経費 95万5千円

青少年の非行防止を図るため、補導センターや青少年問題協議会を運営し、専任補導員や補導委員による巡回、育成だよりの発行などを行います。

- ・青少年問題協議会（委員15名）
 - ・青少年補導委員（委員62名）
- ▶ 問い合わせ 社会教育グループ

成人祭経費 49万6千円

新成人が大人としての自覚を持ち、意識の向上を図ることができるよう、登別市成人祭実行委員会の主催により成人祭を開催します。

- ・期日 平成23年1月9日（予定）
 - ・場所 登別マリンパーク（予定）
 - ・対象人員 約650名
- ▶ 問い合わせ 社会教育グループ

子ども会活動振興助成金 83万円

子どもたちが様々な体験を通して「生きる力」を身につけることができるよう、『こいのぼりマラソン大会』や『かるた大会』などの活動を行う登別市子ども会育成連絡協議会を支援します。

- ・団体数 43団体（7地区連盟）
- ▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第3節 市民の個性ある文化活動と文化を育む

目標1 市民の文化・芸術活動の育成・支援

文化情報の収集と周知に努めるほか、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供などに努めます。

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金 441万8千円

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が行う文化・スポーツ事業を補助します。

○文化振興事業

- ・文化教室開催事業 6事業（初心者英会話教室、ペン習字教室等）
- ・芸術鑑賞事業 2事業（道新ジュニアクラシック札幌コンサート、夏川りみコンサート）
- ・共催事業 3事業（文化講演会、市民文化祭、小中学生書初展）

○スポーツ振興事業

- ・スポーツ教室開催事業 10事業（ジュニアテニス教室、温泉散策ウォーキング等）
- ・スポーツ大会開催事業 4事業（市民綱引き大会、市民スポンジテニス大会、市民ソフトボール大会（夏・秋））
- ・共催事業 2事業（市民ゲートボール大会、市民ミニバレー大会）

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金 1,139万9千円

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の運営に係る経費を補助します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

中学校音楽祭経費 21万5千円

子どもたちの創作活動を喚起し、自発的な文化活動を推進するため、市民会館大ホールを会場に、市内中学校の代表クラスや合唱部、吹奏楽部などが日ごろの練習の成果を披露する中学校音楽祭を開催します。

- ・期日 平成22年10月上旬 参加校 5校

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

文化振興助成金 80万円

市民が文化に親しめるまちづくりを推進することを目的に、市民文化の振興と裾野拡大のために活動を行っている登別市文化協会を支援します。

- ・団体数 37団体 約2,100名

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第52回北海道文化集会開催事業費補助金 14万円

登別市文化協会に対し、平成22年度に本市にて開催される北海道文化集会の開催に要する経費の一部を補助します。

- ・参加人数 約150名

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

児童・生徒文化振興助成金 50万円

保護者の負担を軽減し、もって児童・生徒の文化活動の向上を図るため、市内の小・中学校、高校に在籍する児童・生徒が全道・全国大会に出場するために要する経費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

三市合同文化事業負担金 100万円

市民がより高度な文化にふれ、もって地域文化の向上を図ることを目的に、三市広域行政による芸術文化振興事業を実施します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

目標2 文化の保存・継承

文化財や郷土芸能などの文化遺産の積極的な保護と活用を図ります。

市史資料等デジタル化保存事業費（緊急雇用創出推進事業）

606万9千円（うち道 606万9千円）

市史編纂に使用した貴重な資料等をデジタルデータ化し、CD-ROM等に保存します。

▶ 問い合わせ 総務グループ

アイヌ文化講座経費 29万6千円

アイヌ文化の普及と地域住民との交流を図るため、文化講座を開催します。

・活動内容 アイヌ刺繍教室、トマ織教室など

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

第23回アイヌ民族文化祭補助金 3万円

アイヌ民族文化の保存伝承を目的に開催されるアイヌ民族文化祭を支援します。

・開催期日 平成22年11月

・開催場所 平取町

・内容 古式舞踊、アイヌ語劇、民族資料展示等

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

アイヌ文化普及啓発事業補助金 20万円

アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承活動を行う北海道アイヌ協会登別支部に対し補助を行います。

・事業内容 アイヌ語教室の開催、イチャルパへの参加、アイヌ民族文化祭への参加、講演会、刺繍教室の開催、アイヌ協会ホームページ作成等

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

郷土資料館運営管理経費 193万円

郷土に関する資料を市民に供し、ふるさと登別を大切に育てる心をはぐくむため、郷土の歴史、民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

文化伝承館運営管理経費 30万円

郷土の歴史や文化を伝承し、市民の教育・文化の向上を図ることを目的に、郷土の歴史や文化に関する講習会、研究会、体験学習等を開催します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

文化財保護経費 45万3千円

市民が郷土に対する理解を深め、ふるさと登別を大切にすることを目的に、文化財保護に関する調査・研究・普及を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

のぼりべつ文化交流館運営管理経費 420万3千円

埋蔵文化財に接する機会を設けることにより郷土に対する理解を深めるとともに、作品展示の場を設けることで市民の文化活動の向上を図るため、市内で発掘・出土した埋蔵文化財の保管・展示、体験学習、市民の作品展示などを行う、のぼりべつ文化交流館の運営管理を行います。

○入館者数（平成21年度実績） 2,859名

○開館期間 4月1日から11月30日まで

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

郷土史写真保存・公開事業費（緊急雇用創出推進事業）

125万9千円（125万9千円）

緊急雇用創出推進事業を活用し、市民から提供された郷土史写真のデジタル保存を行うとともに、郷土史写真パネルの作成・展示を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第4節 スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす

目標1 生涯にわたるスポーツ活動の推進

すべてのスポーツ愛好者が生涯を通じて、いつでもどこでも気軽にスポーツに親しみながら、体力づくりを推進し、健康で活力ある生活を目指します。

体育協会助成金 80万円

市民のスポーツ意識の高揚を図ることを目的に、市民スポーツの振興と裾野拡大のために活動を行っている登別市体育協会を支援します。

・加盟団体 21団体 ・加盟者数 4,447名

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費 6万6千円

市民に健康づくりや体力づくりが定着するよう、市民のラジオ体操会や体力テスト会、スポーツ団体などの指導者育成研修を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

スポーツ少年団育成助成金 50万円

青少年の心とからだの健全育成、仲間との連帯感の向上を図ることを目的に、リーダー養成事業や競技別交流会などの活動を行う登別市スポーツ少年団を支援します。

・加盟団体 20団体 ・加盟者数 407名

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

児童生徒スポーツ振興助成金 230万円

保護者の負担を軽減し、もって児童・生徒の体育活動の向上を図るため、市内の小・中学校・高校に在籍する児童・生徒及び市内のスポーツ団体に所属する児童・生徒が全道及び全国大会に参加するために要する経費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

体育指導委員会経費 65万4千円

生活に直結した体育・スポーツの振興を図ることを目的に体育指導委員会を設置し、各種体育行事への協力やニュースポーツの普及等を行います。

・根拠法 スポーツ振興法

・委員数 15名

・役割 スポーツ振興の推進役、コーディネーター

・事業内容 市民ラジオ体操会・市民体力テスト会、文化・スポーツ振興財団事業等への協力、講習会等での指導

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

三市スポーツ大会事業費 19万2千円

スポーツを通じた広域的な交流を行い、もって児童の健全育成を図ることを目的に、三市広域行政における青少年健全育成事業の一環として、スポーツ大会を実施します。

○陸上競技大会

- ・期日 平成22年7月31日(予定)・場所 室蘭市入江陸上競技場
- ・参加対象 小学校4～6年生

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

学校開放事業費 432万2千円

スポーツを通じて市民の健康増進と交流を図るため、小中学校の屋内体育館を市民に開放します。

○屋内体育館

- ・開放校 10校 ・開放期間 平成22年4月12日～平成23年3月4日
- ・平成20年度実績 63団体 利用者数 28,633名

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

きらり健康ふれあいウォーキング(明日のまちづくり事業) 125万5千円

生涯スポーツの振興及び健康増進を図るとともに、地域の再発見や全市観光の推進、環境保全意識醸成の一助とすることを目的に、ウォーキング及びノルディックウォーキング講習会の実施、ヘルスウォーキング大会の開催、ウォーキングマップの作成等を行います。

(実施事業)

- ・ウォーキング・ノルディックウォーキング講習会の開催
- ・ヘルスウォーキング大会の開催
- ・ウォーキングマップの作成
- ・ウォーキンググループのサークル化

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

青少年会館運営管理経費 1,964万1千円

レクリエーション活動等の推進を通じて、青少年の健全な育成を図るため、市内4か所にある青少年会館の運営管理を行います。

平成20年度実績 利用者数 54,137名

青少年会館名	住 所	電話番号
登別市青少年会館	中央町5丁目21-12	85-3107
富岸青少年会館	富岸町2丁目23-15	86-2449
鷺別青少年会館	鷺別町4丁目36-38	86-6515

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民プール運営管理経費 5,116万円

市民の健康増進と余暇活動の充実を図るため、市民の幅広いニーズに対応し、公認競技用プールの機能、アクアスポーツ普及のための機能、水の効能を生かした健康増進機能及びトレーニングルームを備えた市民プールの運営管理を行います。なお、運営管理については、指定管理者への委託により行っています。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民プールバスパック業務委託料 3万2千円

すべての市民が市民プールを利用できる環境を整えるため、路線バス運賃とプール入館料をセットにしたバスパックを実施します。

・利用者数 144人（平成20年度実績）

▶ 問い合わせ 社会教育グループ